

とし、成人指導者の会の指導でバルーンアートの作成、ボーリングや輪投げで盛り上がりました。屋外のプラ金魚すくい、ハロウィンカボチャ彫りも大人気でした。体育館・屋外とも大盛況、子どもたちでにぎわいました。

今回からふれあいバザーを中止したことから、三登山ホールでは新たにフリーマーケット(クラフト市)の開催、若槻ホーム様とウェルシア様による骨強度測定や健康相談を実施しました。



駐車場では、コミわか土曜朝市生産者による地元野菜や豆腐製品の販売、定番の綿あめ、ポップコーンの他、若槻食生活改善推進協議会は豚汁を提供、おやき、おでん、焼き鳥、焼きそば、焼きマッシュマロなども出店しました。

半日という短い時間でしたが、地域の皆様には秋の一日を楽しんでいただけたと思います。

コミわかのスタッフ、ボランティアとしてお手伝いいただきました清泉大学の学生さん、北部中学校生徒さんなど多くの方々のご協力により無事日程を終えることができました。心より御礼申し上げます。(区長部)



令和7年度若槻自然遺産散歩会

水の恵: 溜池郡巡り

10月18日(土)若槻支所駐車場に総勢19名が集まりました。

最初に講師の大村道雄先生から、溜池の歴史やコースについての説明を受けた後、各自が鈴を鳴らしてのスタートです。最初の難関となる蚊里田神社の急坂も、大半の方が健脚を発揮して登りました。

左に細い道を下って行くと、堂沢の池です。いきなり山奥の秘密の場所に来たような感覚に浸っていると、崖の上に何か生き物が見え、一瞬緊張が走りました。どうやら、ニホンカモシカが挨拶に来たようです。道を戻り、ヨネリ池へと向かいました。池は改修工事で原形を留めておらず残念でしたが、近くの鉱泉や水路の水は白濁しており、強い硫黄臭を感じます。そこから三登山林道に出て進み、左に300m程登ると、弁天社の鳥居に着きました。裏手の小さなトンネル付近からは乳白色の鉱泉が流れ出ています。道を戻り下っていくと、上野大池に到着。ここから東南の方角に見える山々の眺望は素晴らしく、講師からの説明に聞き入りました。その後、笠松地藏から鐘撞(かねつき)堂池へと進み、若槻支所へと戻りました。



ヨネリ池の鉱泉



堂沢の池

多くの参加者から「近くにこんな良い所があるとは知らなかった。」との感想を頂きました。今回は、溜池の歴史に思いを馳せながら自然を堪能する、楽しい秋の日となりました。

(自然環境部会)

皐月かがやきこども園のみんなとさつまいも掘り

コミわかグリーン倶楽部(KGC)は、皐月かがやきこども園の園児たちと一緒に植え付けたサツマイモの収穫体験会を10月30日に実施しました。園児約80名、会員10名、JA吉田職員6名の総勢約100名で行いました。



当日は好天に恵まれ、園児たちは到着すると可愛いあいさつを交わしながら、すぐに畑に散って長いイモのツルを引っ張ったり大はしゃぎでした。会員がスコップでイモの根元を緩めてやると我先に土の中に手をつっ込んで掘り出しては歓声を上げていました。「ここ掘って、ここ掘って」とあちこちから声をかけられ大忙しでした。



今年は大豊作となりリンゴ箱で19箱分(昨年より4箱増)ありました。収穫したサツマイモは園の焼き芋大会用に寄付、更に収穫の一部は土曜朝市でも販売をしました。

このこども園との交流事業は今年で15年目になります。地元の子どもたちとの触れ合いは本当に楽しいものです。

(コミわかグリーン倶楽部)